

チャバネアオカメムシの天敵マルボシヒラタヤドリバエの発育特性					
[要約] <u>チャバネアオカメムシの成虫に寄生するマルボシヒラタヤドリバエの発育零点</u> は10.8、 <u>卵から羽化までの有効積算温量</u> は320.5日度である。					
担当部署	生産環境研究所・病害虫部・果樹病害虫研究室			連絡先	092-924-2938
対象作目	果 樹	専門項目	病害虫	成果分類	生理生態

[背景・ねらい]

果樹を加害するチャバネアオカメムシの成虫に寄生するマルボシヒラタヤドリバエ（旧名、マルボシハナバエ）を利用したカメムシ防除法の開発を目指して研究を進めている。そこで、本種の野外における発生経過の解明や効率的な室内飼育法の確立のため、発育零点と有効積算温量を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. マルボシヒラタヤドリバエの発育日数は25℃では約26日で雌雄の差はない。発育日数は、15℃から27.5℃までは温度が高いほど短くなるが、30℃では高温による抑制がみられる（図1）。
2. 卵期間は17.5℃では約5日、27.5℃では約3日と、この温度範囲では高温ほど短くなる（図2）。
3. 17.5℃～27.5℃の発育速度から得られた回帰式で計算した発育零点は10.8℃、卵から羽化までの有効積算温量は320.5日度である（表1）。

[成果の活用面・留意点]

1. マルボシヒラタヤドリバエの野外における生態解明の基礎資料として活用できる。
2. 室内飼育体系構築の基礎資料として活用できる。

[具体的データ]

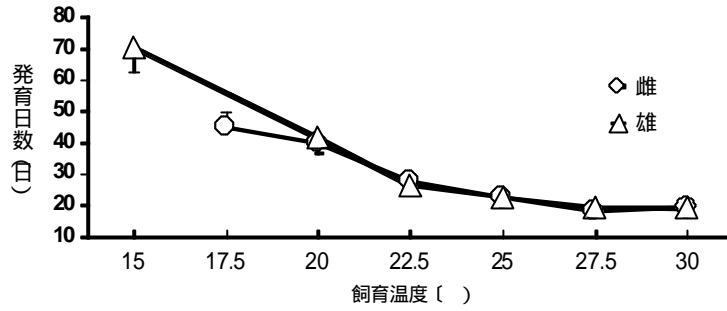


図1 飼育温度とマルボシヒラタヤドリバエの発育所要日数の関係

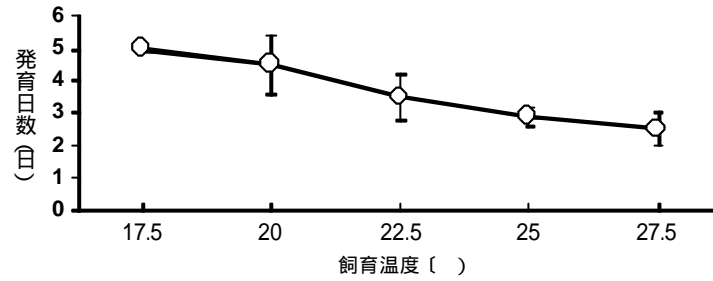


図2 飼育温度とマルボシヒラタヤドリバエの卵期間の関係

表1 マルボシヒラタヤドリバエ各齢態の発育零点および有効積算温量

齢態	回帰式	r^2	発育零点 (°C)	有効積算温量 (日度)
卵	$V = -0.1727 + 0.0206 T$	0.982	8.4	48.6
卵 + 幼虫	$V = -0.0736 + 0.0062 T$	0.983	12.0	162.6
蛹	$V = -0.0548 + 0.0062 T$	0.980	8.9	161.8
卵 ~ 羽化	$V = -0.0337 + 0.0031 T$	0.982	10.8	320.5

注) V : 発育速度、T : 飼育温度

[その他]

研究課題名 : 天敵昆虫類の特性評価と利用技術

予算区分 : 国庫 (指定試験)

研究期間 : 平成12年度 (平成11~12年)

研究担当者 : 山中正博、堤 隆文

発表論文等 : 平成12年度生産環境研究所病害虫部果樹病害虫関係試験成績概要書